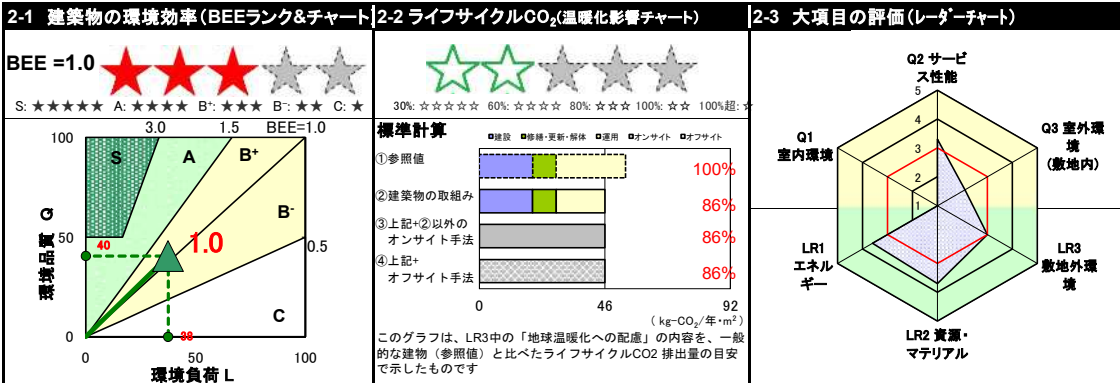
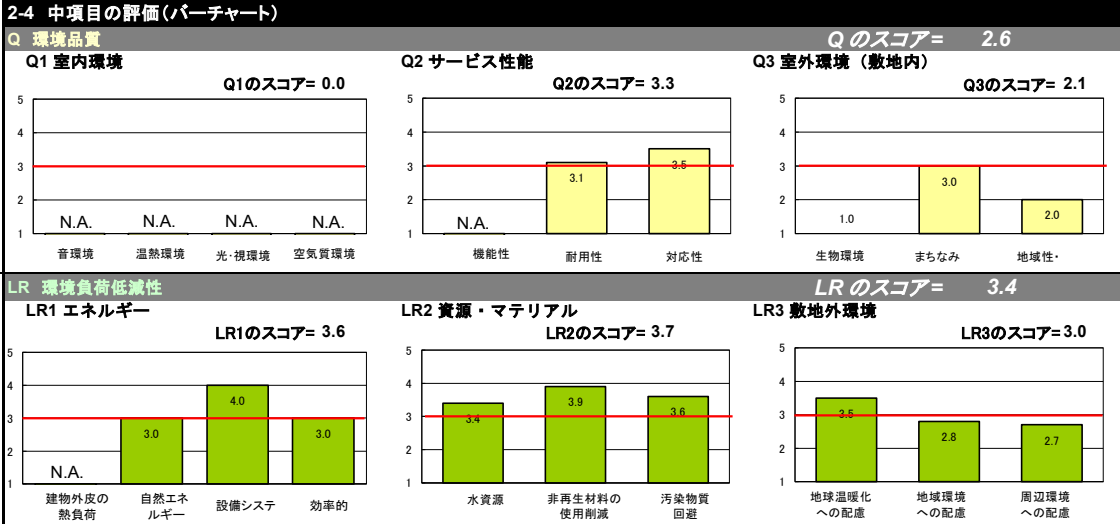


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	菱輝金型工業株式会社 稲沢第二工場	階数	地下0階地上3階
建設地	〒463-0292 愛知県稲沢市稲沢2-1-1 (北緯35.281250度 東経137.081250度)	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	7 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年3月 予定	評価の実施日	2026年5月14日
敷地面積	6,746 m ²	作成者	高橋 豊
建築面積	2,871 m ²	確認日	2026年5月14日
延床面積	3,087 m ²	確認者	高橋 豊



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.5	1.0
	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
	25.2 %
	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
	0.0 %
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.4	1.0
	<外装材に使用した地域性のある材料>
	なし
	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
	なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

- ①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
菱輝金型工業株式会社 稲沢第二工場

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階											
配慮項目		独自基準 重点項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体	
						評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質												2.6	
Q1 室内環境													
1 音環境						-	-	-	-	-	-		
1.1 室内騒音レベル						3.0	-	-	-	-	-		
1.2 遮音						-	-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能						-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	3.0	-		
1.3 吸音						-	-	-	-	3.0	-		
2 温熱環境						-	-	-	-	-	-		
2.1 室温制御						-	-	-	-	-	-		
1 室温						3.0	-	-	-	3.0	-		
2 外皮性能						3.0	-	-	-	3.0	-		
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御						3.0	-	-	-	3.0	-		
2.3 空調方式						3.0	-	-	-	3.0	-		
3 光・視環境						-	-	-	-	-	-		
3.1 昼光利用						-	-	-	-	-	-		
1 昼光率						3.0	-	-	-	3.0	-		
2 方位別開口						-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備						3.0	-	-	-	3.0	-		
3.2 グレア対策						-	-	-	-	-	-		
1 昼光制御						5.0	-	-	-	3.0	-		
3.3 照度						3.0	-	-	-	3.0	-		
3.4 照明制御						3.0	-	-	-	3.0	-		
4 空気質環境						-	-	-	-	-	-		
4.1 発生源対策						-	-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質						3.0	-	-	-	3.0	-		
4.2 換気						-	-	-	-	-	-		
1 換気量						3.0	-	-	-	3.0	-		
2 自然換気性能						3.0	-	-	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	-	-	-	3.0	-		
4.3 運用管理						-	-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能						-	-	0.43	-	-	-	3.3	
1 機能性						-	-	-	-	-	-		
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性						3.0	-	-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		独自				3.0	-	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性						-	-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)						3.0	-	-	-	3.0	-		
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	-	-		
3 内装計画						3.0	-	-	-	-	-		
1.3 維持管理						-	-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計						3.0	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保						-	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性						0.5	3.1	0.52	-	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振						0.4	3.0	0.48	-	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	3.0	0.80	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能						3.0	3.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数						0.3	3.3	0.33	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数						-	3.0	0.23	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						-	3.0	0.23	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						-	3.0	0.09	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						-	3.0	0.08	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						-	5.0	0.15	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔						-	3.0	0.23	-	-	-		
2.4 信頼性						0.1	3.0	0.19	-	-	-		
1 空調・換気設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水・衛生設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-		
3 電気設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-		
4 機械・配管支持方法						3.0	3.0	0.20	-	-	-		
5 通信・情報設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-		

3 対応性・更新性				0.4	3.5	0.48	-	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			②	0.3	4.2	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高4.35m		-	5.0	0.60	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ			3.0	3.0	0.40	-	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.4	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック、電線管敷設		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラック方式・電線管敷設		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.57	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	-	0.40	-	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.7	3.0	4.0	0.63	-	-	-	4.0
4 効率的運用				0.2	3.0	0.25	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	-	0.30	-	-	-	3.7
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水				3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.9	0.63	-	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減			② 独自	-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	5.0	0.21	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	3.0	5.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	4.0	0.68	-	-	-	
1			消火剤	-	-	-	-	-	-	
2			発泡剤(断熱材等)	-	5.0	0.50	-	-	-	
3			冷媒	3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	-	0.30	-	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			①	-	3.5	0.33	-	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				0.3	2.8	0.33	-	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止				-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.5	0.25	-	-	-	
1			雨水排水負荷低減	独自	-	3.0	0.25	-	-	
2			汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	
3			交通負荷抑制	独自	-	3.0	0.25	-	-	
4			廃棄物処理負荷抑制		-	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	2.7	0.33	-	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1			騒音	独自	-	3.0	0.50	-	-	
2			振動	独自	-	3.0	0.50	-	-	
3			悪臭		-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1			風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-	
2			砂塵の抑制		-	3.0	-	-	-	
3			日照障害の抑制		-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	1.6	0.20	-	-	-	
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	1.0	0.70	-	-	
2			屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE:建築(新築)2016年版+あいち版手引き

愛知県金型工業株式会社 稲沢第二工場

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点		全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					3.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	3.4	
② 資源の有効活用					
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22		
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.21	1.0	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.9	0.19		
③ 敷地内の緑化					1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:25.2%/建物緑化:0%	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 菱輝金型工業株式会社 稲沢第二工場

計画上の配慮事項	
総合	間仕切りのない大空間とすることで、可変性があり効率的に作業できるように配慮した。
Q1 室内環境	対象外。
Q2 サービス性能	排水ポンプの設置などにより電源、通信設備等への浸水対策を行うことで信頼性に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	空地を多くとり、見通しの良い建物配置とすることで防犯性に配慮した。十分な外構緑化を行うことで敷地内の温熱環境の向上に配慮した。
LR1 エネルギー	照明器具にLED照明を採用することで設備システムの高効率化に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	壁下地にLGSを採用することで部材の再利用可能性を向上させ、非再生性資源の使用量削減に配慮した。
LR3 敷地外環境	外構緑化により地域環境に配慮した。
その他	